

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成26年10月8日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103904
法人名	有限会社 ドリーム・ミソノ
事業所名	グループホーム 紫原
所在地	鹿児島県鹿児島市紫原四丁目34番31号 (電話) 099-250-2643
自己評価作成日	平成26年9月8日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成26年9月26日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・高台に有り、春になると桜並木がとても綺麗です。近所に公園や学校、医療機関があり、大きな道路から少し入ったところにあるため、とても静かで、恵まれた環境に作られたホームです。
 ・近くの学校の職場体験を受け入れたり、地域の文化祭や夏祭り・運動会の見学を行うなどの地域との交流を行っております。
 ・入居者には、できるだけ入居前と変わらない生活スタイルを送っていただきたいため、ご自宅で使用していた家具をお持ち頂くことをおすすめしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当ホームのホールはゆっくりくつろげる空間になっており、台所が近く調理の準備などが見える位置にある。食事やリクリエーションをしたり、パブリックスペースがあり、家族の面会時などに自由に使用している。
 ・職員は毎朝、情報の共有化を図り、現場で起こる課題などを管理者等へ相談し、職員間のコミュニケーションも取れており、サービス向上に繋がっている。家族からのアンケートにも、日頃の感謝や期待感があり信頼されている。
 ・町内会に加入し、地域の情報を知り、運動会などの地域行事に参加したり、散歩などで地域住民と交流している。
 ・消防署の指導のもと、避難訓練を行い災害に備えている。地域住民も参加している。避難用具や災害時の備蓄も必要最低限の物が準備されている。避難誘導できる場所も決めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	受付に理念を貼り、毎朝申し送り時に唱和し、業務に繋がるように意識付けを行なっている。理念に基づき、口腔ケア教室の実施、地域の行事の参加などを行なっている。	理念は事業所内の見えるところに掲示し、毎朝申し送り時や職員会議等で唱和したり、理念について話し合いケアの実践に取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	町内会に加入し、地域の文化祭や夏祭り・運動会の見学を行う事や、学生の職場体験の受け入れを行うなど、地域との交流を行なっている。	地域行事の夏祭りなどに積極的に参加している。小学校の運動会の見学や中学生の職場体験学習、ボランティアの踊りなど披露してもらっている。法人事業所の行事には多くの地域住民の参加があり、地域との交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	面会や見学にこられた方々から認知症や介護保険の相談を受けることなど、地域への貢献に励んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>1年に6回運営推進会議を開催。会議内容を掲示している。利用者様の家族・民生委員・地域包括支援センターなどが出席され、意見を頂き、施設内の状況や行事の報告するなどの話し合いを行なっている。</p>	<p>会議は定期的に行われ、事業所の行事や状況報告・外部評価についての説明や結果報告などを行い、参加者とレクリエーションの内容などの意見交換をして、日々のサービス向上に反映させている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>市より介護相談員が来られる。必要に応じて市町村担当者と連携を図り、地域包括支援センターへ運営推進会議などの案内状を送り、情報交換の機会を作っている。</p>	<p>市担当者とは、書類提出時や利用者の状況報告・困難事例などを直接出向いて相談したり、電話でアドバイスや情報交換を行なっている。運営推進会議を通して協力関係もできている。市主催の研修会にも積極的に参加し、介護相談員も受け入れている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束をしないケアについて休憩室に掲示し、2ヶ月に一度、ミーティング時に身体拘束廃止委員会を開き、職員間の意識付けをしている。</p>	<p>「身体拘束はしない」を目標に、身体拘束廃止委員会が設置され、定期的に勉強会を実施し、身体拘束をしないケアを実践している。日中の玄関は施錠せずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。外出希望者については声かけをして一緒に散歩しながらさりげない支援をしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	ミーティングにて研修を行い、虐待防止に務めている。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	権利擁護研修に参加しミーティングにて、報告し話している。日常生活自立支援事業や成年後見制度についての説明が行えるように、資料を準備している。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	管理者が、契約書・重要事項説明書に沿って説明を行なっている。契約時は、不安点や質問にもお答えしている。契約前には、ご本人も含めて見学をして頂くこともある。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	利用者からは、日常の生活の中で意見などを聞き、ご家族からは面会時や行事、運営推進会議など参加されている際に意見などを頂いている。必要に応じて運営推進会議にて話し合い、運営に反映させている。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞いたり、家族からは面会時や家族会・運営推進会議・行事の参加時に職員の方から利用者の近況報告をして、利用者への思いを聞き、運営に反映させている。意見箱も設置している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎日の申し送り時や月一回のミーティング時に意見を聞いている。</p>	<p>代表者や管理者は日頃から職員とコミュニケーションを図り、申し送りやミーティング等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るようにしている。管理者は個々の相談にも応じている。職員の資格取得に向けた支援も行っている。職員は仲がよく何でも言い合える環境にある。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>資格を取得するにより資格手当支給があり、向上心を持って働くことができるように努めている。試験対策研修の参加の呼びかけを行っている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、職員が持ち回りで担当する勉強会を行なっている。外部研修のお知らせを掲示し、参加の機会を作っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修の機会を作ることで、同業者との交流する機会を作っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	職員は、サマリーや生活歴などが記載された書類に目を通し、それをもとに、ご本人に接し、コミュニケーションを図り、信頼関係づくりに努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前の情報から、家族の関係を確認。面会・行事参加時や電話連絡のさいに、コミュニケーションを取り、良い関係作りができるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族・本人の希望を確認し、日常の心身の状態観察、スタッフ間の情報・意見交換などを通じて、必要に応じて、訪問歯科診療や、訪問マッサージなどを含めた対応に努めている。 又、おむつなど注文などの対応にも努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	入居者が出来る事を生かせるように、お盆拭きや、洗濯物干し、カレンダーのセットなどを、それぞれの状態に合わせて役割を持てるように支援する事で、良い関係が築けるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の面会時や、毎月のお便りにて、日常の様子や体調などを伝え、情報を共有し、家族と協力して支援を行うことができるように関係作りに努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会の際、ゆっくりくつろげるような部屋の雰囲気作りを行っている。 定期的に外出される方へは、家族にも労いの声掛けをし、一緒に楽しい時間を作って頂けるようにお話をしている。	人間関係が途切れないように、利用者や家族から要望があれば馴染みの場所に案内したり、理美容室など交流を継続できるように支援している。家族と一緒に行きつけの店で、買い物や外食・墓参をしている。電話で家族や関係者と話したり、手紙の支援も行っている。馴染みの友人知人の訪問もあり、関係を継続できるように働きかけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係や状態、生活リズムを把握し、座席などを考慮した支援を行っている。 月行事など一階・二階の交流を行える機会を作り、利用者同士が関わり合える様、配慮している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	管理者が家族に連絡し、近況を尋ね、場合によっては相談などを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	毎日の生活の中で、本人の思いや行動、今まで暮らしてきた生活歴を尊重しながら気持ちに添えるように支援している。自分で意思表示が困難な方は、表情や言動をくみ取り接している。	利用者や家族から思いや意向を情報収集し、日々の生活の中で言動などから思いを汲み取り、職員で話し合いケアに取り組んでいる。意志疎通の困難な利用者は表情や言葉・家族の話しから推測して、本人本位に支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	家族よりいままでの生活内容を聞き、サマリーなどからこれまでの経過を把握し、本人のペースに合わせた生活が送れるように支援している。今まで使っていた家具や、個人の思いいれのあるもの（写真・仏壇）等を持ってきて置いている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	状態観察、情報共有を行い、一人ひとりの生活の過ごし方や有する力の把握に努めている。個別の記録・血圧測定等をおこなうことで、心身状態の把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人・家族より、意見・希望をいただき、出来る範囲で思いに添える様に介護計画を作成できるように努めている。</p> <p>一人ひとり、担当者を決めて、モニタリングを作成。月に一度フロアミーティングを行い、状態変化やより良いケアのあり方について意見交換している。</p>	<p>本人や家族の意向を確認し、今までの生活歴などを参考に、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。毎月モニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直しをしている。状況が変化したときは現状に即した介護計画を作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別記録をわかりやすいように日勤帯・夜勤帯でボールペンの色を変えて、気付いたことを記入している。</p> <p>朝、夕に申し送りを行い、情報共有し、月に一度フロアミーティングを行い、状態変化への対応等を検討し、反映に活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>利用者のニーズや家族の希望に対応できるように、訪問美容、訪問歯科、訪問マッサージ、訪問鍼灸の活用、介護タクシーの紹介等、柔軟な支援が行えるように、サービスの多機能化に取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地域での行事に参加し、近くの公園へ散歩や花見などに行くことや、避難訓練を実施する際は、近隣に書類にてお知らせすることで、地域の中で安全に充実した暮らしを楽しむことができるように努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人及び家族の希望に合わせた、かかりつけ医と連携を図り、適切な医療を受けられるように支援をしている。 状態・症状に合わせ、家族に報告・相談し専門医に受診して頂いている。</p>	<p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。受診は家族同行となっているが、不可能な場合は職員が代行し、結果はそのつど家族に報告している。歯科など専門医は家族と一緒にしている。皮膚科など訪問診療に来てもらうケースもある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>専任の看護師はいない。 利用者の状態・日常の気づきをかかりつけの病院に報告し、連携をはかることで、適切な受診や往診が受けられるように支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院の際は、口頭や文書にて本人の状態や経過を報告。 入院中も経過を確認し、長期の際は管理者または、スタッフがお見舞いに伺い、本人・病院関係者と情報交換を行なっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>事務所での介護指針に基づいて、家族、主治医、職員間で話し合いを密に行い、ご家族の納得のいくよう、説明をしっかりと行いながら支援を行なっている。</p>	<p>入居時に、「重度化や終末期に伴う対応の介護指針」をもとに説明している。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医と連携して、段階的に早期からの話し合いをして、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。ターミナルケアでの係わり方について説明し、同意をもらい支援に取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>年に一度、救急蘇生法や事故発生時に備えて対応がスムーズに行えるよう、講習、訓練を受けている。</p> <p>緊急時のマニュアルを作成、手の届く際に設置している。</p>		
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>年間2回、夜間、昼間を想定した避難訓練を自衛消防隊と消防隊との連携で行なっている。近所へも伝達し協力を求めている。</p> <p>水や防災グッズ・担架をわかりやすい場所に設置している。</p>	<p>年2回消防署の指導のもと、昼夜間想定避難訓練と年1回地震を想定した自主訓練を実施している。避難誘導できる場所を決めて訓練を行い災害に備えている。スプリンクラーも設置され、防災設備もある。地域住民との協力体制もできている。災害時の備蓄も必要最低限の物が準備されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	<p>利用者を人生の先輩として、尊敬しプライバシーを損ねないように、個々に応じた言葉かけや、本人に確認してからの訪室などの対応を心掛けている。</p>	<p>利用者の人格を尊重したプライバシーの確保に努めている。定期的に勉強会を実施し、職員の資質向上に取り組んでいる。トイレや居室に入る時はノックをする等、配慮している。個人記録等の取扱いは秘密保持を重視した管理がなされている。</p>	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	<p>生活の中で、コミュニケーションの機会を作り、気軽に思いや希望を伝える関係性を築けるように努めている。 自ら思いを伝えることが難しい方には生活歴や嗜好を把握し、希望に添えるように努力している。</p>		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>利用者の今までの生活やペースに合わせた支援・対応を心掛けている。 朝食は利用者の離床時間に合わせしてお出ししている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	ご家族が衣類を持ってこられる。希望に合わせて衣類を選んだり、更衣ができるように支援している。 希望により、訪問美容の利用や家族と美容院に出かけることができるように支援をしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるように、利用者のご機嫌に合わせて、もやしの根切りなど準備を手伝って行くことや、個人持ち込みの食事や、おやつや飲み物を本人に合わせて食べることができるよう支援を行っている。 行事として、そうめん流しなど外食に出かけることもある。	食事を楽しく美味しく食べられるように、利用者の力量に応じて下ごしらえや後片づけを職員と一緒にいき、食事と一緒に楽しく食べている。誕生会や行事食にケーキや菓子作りをしたり、外食にも出かけている。利用者の希望に添った献立も工夫し、食事が楽しみなものになるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分の摂取量を記録し把握に努めている。 水分摂取量がすくない方には、色々な飲み物や、ゼリー等を勧めたり、家族と協力し好むものを準備することで、摂取がしやすいように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	年に一度、口腔教室を行っている。 義歯の方は一人ひとり洗浄・消毒を行い口腔ケアをしている。 自分の歯の方はチェックし、希望に応じて仕上げ磨きをしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の時間を記録し、それぞれの入居者のトイレ時間の間隔を図って言葉かけを行い、トイレへ誘導し排泄を促す。立位の状態によっては2名で介助を行っている。	排泄パターンをチェックし、状態把握を行い、さりげなく声かけしたり、その日の体調も観察してトイレに誘導している。オムツを減らす取り組みや排泄の自立を支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分を勧め、食事に繊維質と取り入れるように工夫し、なるべく体を動かす機会を作り、立位が取れる方は、歩くなど運動を促している。 毎朝、お茶の時間に自家製のヨーグルトを出し、食べて頂いている。	/	/
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴日は曜日を一人ひとり決めているが、個々の状況の応じて追加や変更をされることある。本人のその日の気分や体調などを考慮し、支援を行っている。	入浴は基本的に週3回であるが、曜日や時間なども柔軟に対応したり、タイミングを合わせて個別的に入浴し、いつでも入浴できるようにしている。同性介助の支援をしている。入浴を拒む利用者には、声かけや時間をずらしたりして工夫し、入浴を楽しめるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、 安心して気持ちよく眠れるよう 支援している	一人ひとりの生活習慣や意思に あわせ、また前日の入眠状態な どを考え、休息を促している。 各居室の室温、明るさなど調整 を行っている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	服薬準備・確認表を作成し、2 名でチェックを行っている。 薬のセットは基本的に薬剤師が 行っている。 薬剤師と連携を図り、情報共有 を行い、服薬変更時など必要に 応じて相談を行っている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 暦や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	音楽や塗り絵など、それぞれが 好きな事で、気分転換が図れる ように、支援をしたり、作品を 展示して一緒によろこびを感じ られる様に支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している。	一人ひとりのその日の希望に 沿った外出は不十分であるが、 できるだけ行うことができるよ うに努めている。年間行事計画 を立て、外食したり、お弁当持 参で戸外に出かけるなどの外出 支援を行っている。 また、家族の面会時に外出・外 泊の機会が図れるように、支 援、働きかけを行っている。	一人ひとりの楽しみごとに合わ せて散歩や公園・買い物に出か けている。年間計画を立てて、 地域の行事に参加したり、花見 やソーメン流し・季節に応じて ドライブなどに出かけている。 家族の協力で外食や墓参・買 い物等にも出かけている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持を希望される方は、自分で管理して頂き、清掃などで部屋に入る際は、言葉かけを行い、一緒に入室するようにしている。</p> <p>管理が難しい方は、ホームで管理し、本人希望にあわせて、買い物を行えるよう支援してる。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望に応じ、電話の受け答えが行えるように支援している。</p> <p>手紙は本人が書くことができるように支援し、やりとりができるように図っている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>室内の湿度・温度と随時確認し、体調管理を行いながら、居心地良く、毎日を過ごせるよう配慮している。</p> <p>季節を感じさせる行事を心がけ、七夕の飾り作りや、クリスマスにはツリーを入居者と共に飾り付けたりと季節を感じながら、居心地良い空間造りに努めている。</p>	<p>ホールは換気や採光・温度・湿度に配慮し、明るく清潔である。パブリックコーナーで、ゆっくりくつろげるスペースがある。ホールの食堂から台所が近く、五感を刺激される。壁に季節を味わうことができる行事の飾りつけや花がある。ソファも多く設置され、居心地よく過ごせるような工夫がされている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールにソファを設置し、気の合った利用者同士で過ごせるようにし、利用者の相性や体調・歩行状態などに合わせて、机の位置、座席を決めている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人・家族と相談し、使い慣れた馴染みの家具や小物を設置して頂いている。 季節の変わり目には、ご家族に衣類や布団などの衣替え・整理を依頼している。</p>	<p>本人や家族と相談し、本人が自宅で使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれている。利用者の手作り作品などが飾られ、その人にあった居室に配慮し、自宅に近い環境作りをして、安心して過ごせるように工夫がされている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>廊下やトイレ・浴室に手すりを設置している。 わかりやすいように、居室・トイレ・浴室の入り口に名札などを張り出している。 必要に応じて、センサーを設置し本人の歩行・立位の支援を行うことで、「できること」を活かせるように支援している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
		○	3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
		○	3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない